

社会福祉専攻：4年次編入学生 カリキュラム（2023年4月以前入学）

2025年度版

卒業に必要な単位数：135単位以上

入学後に必要な修得単位数：45単位以上

■必修45単位以上

区分	編入学時	編入学後		合計
	包括認定	必修	選択	
共通科目	48単位	-	-	48単位以上
学科科目	42単位	45単位	-	87単位以上
合計	90単位	45単位	-	135単位以上

- 1年間以上の在学期間と、卒業に必要な修得単位数(必修45単位)を満たしている場合には、年度末(3月)で自動的に卒業となります。
学位(学士)の取得のみを目指す場合には、1年間以上の在学期間と、**学科科目34単位**を修得し、事前申請により3月または9月に卒業することができます。
- 各年度に履修できる単位数は、**64単位を上限**とします(再履修科目を除く)。
- 「心理・仏教学系科目」から履修できる単位数は、**8単位を上限**とします。
- 認定心理士資格申請のためには、「認定心理士科目」から**36単位以上**の修得が必要です。
資格申請を目指す場合は、必ず「**通信教育部ガイド:取得できる資格**」にて必要な科目をご確認ください。
- 個別認定単位は、卒業所要単位数に算入されます。
- 相談援助業務の実務経験による履修免除科目(選択10単位)は卒業所要単位数には含まれません。
また、「社会福祉演習1～3」を修得しなければ社会福祉士受験資格は取得できませんので、ご注意ください。
- 自己育成能力開発科目は、対応する社会福祉系科目(社会福祉士指定科目)を修得した方のみ履修できます(同年度履修可能)。
- 社会福祉士受験資格を取得するには、科目名欄にある■(必修45単位)と□(選択20単位)の合計**65単位**の修得もしくは免除が必要です。
□の科目は、修得しなくても卒業所要単位数を満たせば自動的に卒業となりますが、**卒業後に科目等履修生として履修することはできません**のでご注意ください。
→ **社会福祉士の受験資格などについては「通信教育部ガイド:取得できる資格」をご確認ください。**

開講年次 4年★:春入学者は2年目以降に履修可能、秋入学者は入学半年後に履修可能です。
(入学前に「社会福祉士」指定科目を修得済で、単位認定された場合は、認定された科目に応じて一部科目を初年度から開講します。詳細は「通信教育部ガイド」「04.単位認定」をご参照ください。)

学修方法 S:スクーリング科目 T:テスト科目 R:レポート科目 TR:テスト・レポート科目
SR:スクーリング・レポート科目 ST:スクーリング・テスト科目 STR:スクーリング・テストレポート科目

科目名 ■:「社会福祉士」指定科目かつ学科科目(必修45単位) □:「社会福祉士」指定科目かつ学科科目(選択20単位)
免:相談援助業務の実務経験による履修免除科目(選択10単位) 介:「介護福祉士」有資格者(2011年までに取得)の認定科目(必修12単位)

単位数 ()内の数字は、その科目で修得できるスクーリング単位数です。

スクーリング ライブ:対面やZoomなどリアルタイムで受講する形式 メディア:録画された授業を視聴する形式

2024年9月時点の予定であり、変更になる場合があります。

開講年次	科目区分	科目名	学修方法	単位数		スクーリング				備考		
				必修	選択	授業方法		コマ数	日数		受講料	
				ライブ	メディア							
学科科目												
4年	基礎科目	大学基礎	STR		1 (0)		○	2		2,500		
	セルフディベロップメント科目	SDGs基礎	T		1							
	社会福祉系科目	医学知識	介 ■	T	2							
		心理学		T		2						
		社会学		T		2						
		現代社会と福祉	介 ■	T	4							
		社会調査の基礎	■	T	2							
		相談援助の基盤と専門職	■	T	4							
		相談援助の理論と方法1	■	T	4							
		相談援助の理論と方法2	■	T	4							
		地域福祉	■	T	2							
		コミュニティーワーク	■	T	2							
		福祉行財政と福祉計画	■	T	2							
		社会福祉運営管理	■	T	2							
		社会保障	■	T	4							
		高齢者福祉と介護保険制度	介 ■	T	4							
		障害者福祉	介 ■	T	2							
		児童・家庭福祉	■	T	2							
		公的扶助	■	T	2							
		保健医療サービス	■	T	2							
	就労支援サービス	■	T	1								
	権利擁護と成年後見制度		T		2							
	司法福祉		S		1 (1)	○		7	2	7,500		
演習・実習系科目	社会福祉演習1	□	R		4							
	社会福祉演習2	□	SR		3 (2)	○		19	6	23,750		
	社会福祉演習3	□	SR		3 (1)	○		3	1	3,750		
	社会福祉実習指導1	免 □	SR		4 (1)	○		8	4	10,000		
	社会福祉実習指導2	免 □	SR		1 (0)	○		2	2	2,500		
	社会福祉実習指導3	免 □	SR		1 (0)	○		5	2	6,250		
	社会福祉実習	免 □	S		4 (4)	○		-	24以上	115,000	◆履修条件参照	
4年★	セルフディベロップメント科目	SDGs発展	SR		2 (1)	○		7	2	7,500	◆履修条件参照	
		アカデミック・ライティング	SR		2 (1)	○		7	2	7,500		
		キャリアコミュニケーション	ST		2 (1)	○		7	2	7,500		
		人間科学概論	ST		2 (1)	○		7	2	7,500		

開講年次	科目区分	科目名	学修方法	単位数		スクーリング				備考	
				必修	選択	授業方法		コマ数	日数		受講料
						ライブ	メディア				
学科科目											
4年★	自己育成能力開発科目	医学一般	T		2						
		社会福祉	T		4						
		社会調査	T		2						
		ソーシャルワーク	T		4						
		社会福祉援助技術1	T		4						
		社会福祉援助技術2	T		4						
		地域福祉論	T		2						
		コミュニティーソーシャルワーク	T		2						
		社会福祉行政財政と福祉計画	T		2						
		福祉運営管理	T		2						
		社会保障制度	T		4						
		高齢者福祉サービスと介護保険	T		4						
		障害福祉	T		2						
		児童・家庭福祉制度	T		2						
		生活保護	T		2						
		保健医療制度	T		2						
		就労支援	T		1						
	認定心理士科目	心理学概論	T		4						
		心理測定法	STR		4 (2)	○	○	14	4	15,000	
			TR		4						
		心理学実験実習1	R		2						
		学習心理学	T		4						
		発達心理学	T		4						
		臨床心理学	T		4						
		社会心理学	T		4						
		認知心理学	R		4						
		パーソナリティ心理学	T		4						
		教育心理学	ST		4 (2)	○	○	14	4	15,000	
	心理学実験実習2	SR		2 (1)	○		14	4	17,000		
	心理・仏教学系科目	精神医学	T		2						
		家族関係論	S		2 (2)		○	14		15,000	
		人間論	S		2 (2)		○	14		15,000	
		ヒンドゥーの文化と思想	S		2 (2)	○		14	4	15,000	
実践仏教		S		2 (2)	○		14	4	20,500		
坐禅研修		S		2 (2)	○		14	3	28,000		
念仏研修		S		2 (2)	○		14	3	45,000		
仏跡研修		S		2 (2)	○		-	6泊7日	15,000	R7休講予定	
生活仏教(日本仏教の諸宗派)	S		2 (2)	○		14	4	15,000			

◆受講料内訳	
社会福祉実習	スクーリング料金に「実習委託費(35,000円)」を含む
実践仏教	スクーリング受講料に「坐禅のための坐布代金と写経のためのお手本と用紙代金(5,500円)」を含む
坐禅研修	スクーリング受講料に「宿泊・食事費等(13,000円)」を含む
念仏研修	スクーリング受講料に「宿泊・食事費等(30,000円)」を含む
心理学実験実習2	スクーリング受講料に「実験機器維持費(2,000円)」を含む

◆履修条件 ※詳細はスタディガイドをご覧ください。	
SDGs発展	「SDGs基礎」を単位修得していること。
社会福祉実習	①実習前(4年次の9月中旬)までに「社会福祉演習1」「社会福祉演習2」「社会福祉実習指導1」の単位を修得すること。 ②「社会福祉実習指導1～3」「社会福祉演習3」を同年度に履修すること。

〈更新履歴〉

2024年9月19日 カリキュラム表をアップロードしました。